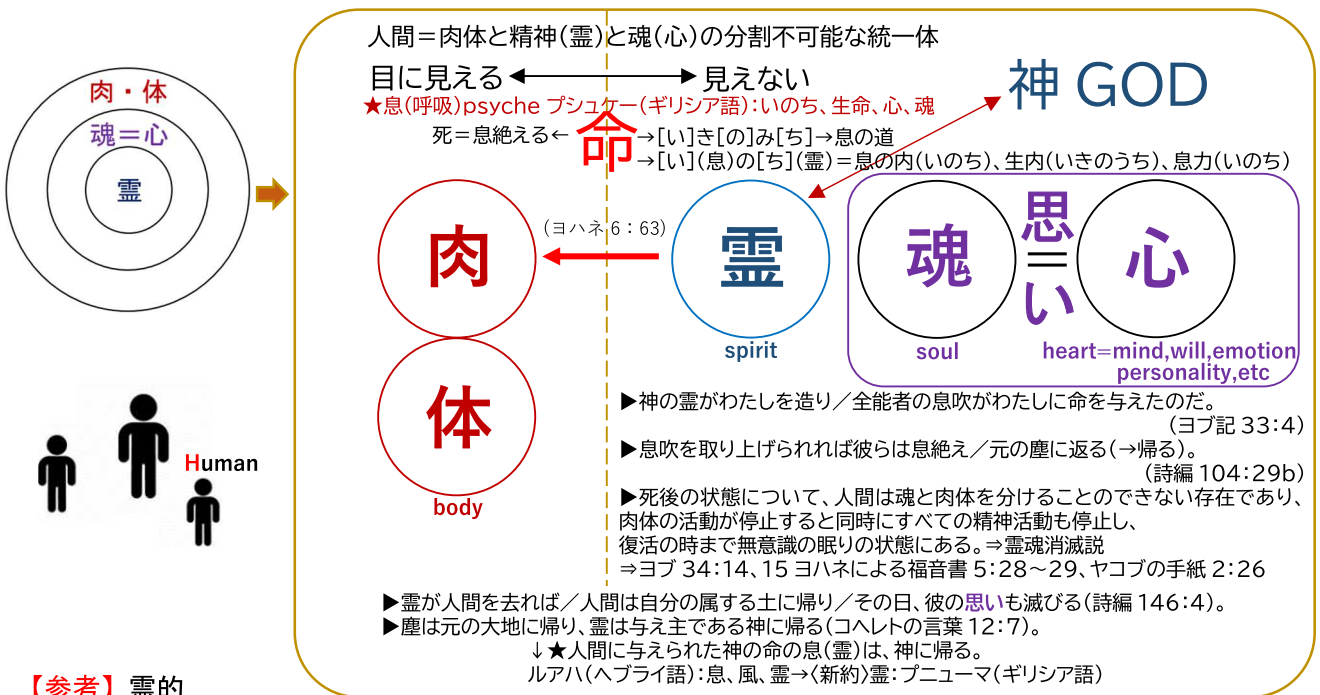


肉(体)、霊、魂、心 等

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
	タイトル(書名)	章:節 聖句 【検索対象総数: 10 / 聖句等の総数 33250】
K	民数記	27:16 「主よ、すべての肉なるものに霊を与えられる神よ、どうかこの共同体を指揮する人を任命し、
K	エゼキエル書	11:19 わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける。わたしは彼らの肉から石の心を除き、肉の心を与える。
K	エゼキエル書	36:26 わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。
S	ヨハネによる福音書	6:63 命を与えるのは“霊”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。
S	コリント信徒への手紙 I	15:46 最初に霊の体があったわけではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです。
S	ガラテヤの信徒への手紙	5:17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているので、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。
S	エフェソの信徒への手紙	4:4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。
S	テサロニケの信徒への手紙 I	5:23 どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。 (聖書協会共同訳)また、あなたがたの霊と心と体 (spirit, soul and body) とを完全に守り、 私たちの主イエス・キリストが来られるとき、非の打ちどころのない者としてくださいますように。
S	ヤコブの手紙	2:26 魂のない肉体が死んだものであるように、行いを伴わない信仰は死んだものです。
S	ペトロの手紙 I	3:18 キリストも、罪のためにただ一度苦しめられました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しめられたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。



【参考】霊的

① ヒトの内面を指す。→人間は霊的存在である。

→人はパンだけで生きる(→息[生命活動の根幹]をする→【いき】をす【る】→生きる)ものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる(マタイによる福音書 4:4→申命記 8:3)。

② 聖霊の働きを指す。→霊的賜物:聖霊がくださる賜物=御霊(みたま)の賜物

【参考】 条件付き靈魂不滅

キリスト者(イエス・キリストの贖いによって救われた者)の死→一時の**眠り**につく→再臨時に、名前が呼ばれ、**復活**→**永遠の命**

キリスト者以外の死→魂は**地獄**→千年期後、宇宙(地獄)から**完全消滅**

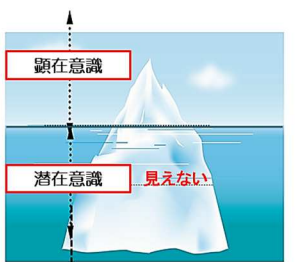
→詩編 146 : 4

霊が人間を去れば／人間は自分の属する土に帰り／その日、彼の思いも滅びる。

→マタイによる福音書 10 : 28

体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、**魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。**

【参考】 仏教では

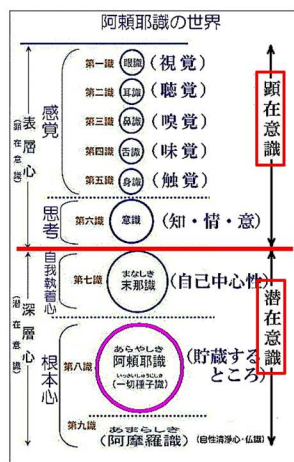


末那識は、執着する心



心の深い所で、行動に影響を与えているものが自分の主人である。

根本心は、人間存在の根本にある心。普段自覚できる意識より**はるかに深いところで、はるかに強い力**で私たちが動かしている識です。



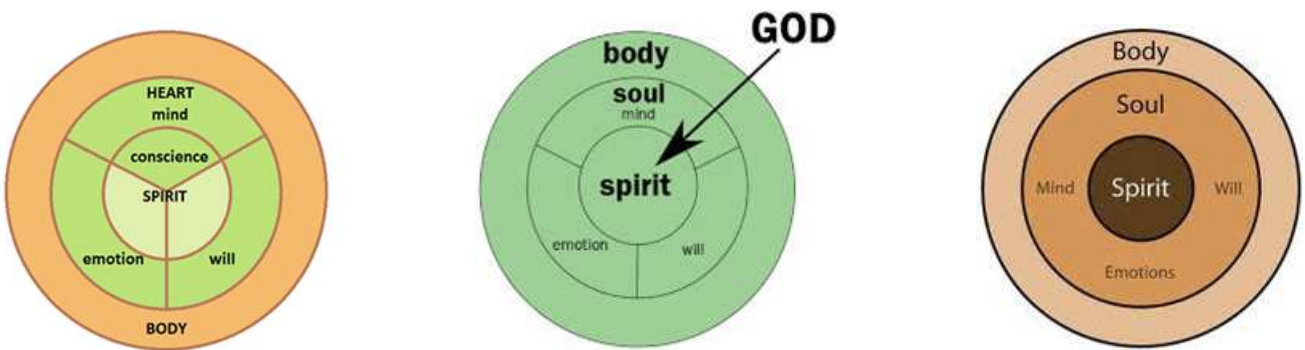
【参考】 息(呼吸) プシュケー-Psyche(G)

プシュケーを訳す場合、一つの訳語で表すことは難しい

→ 1. いのち、2. 生命、3. 心、4. 魂

- ・ 息：生命活動の根幹
- ・ 息をする→**いき**をする→生きる
- ・ 息の道→**いきのみち**→命
- ・ 息々→生き生きしている
- ・ 息絶える→死

【参考】 海外のウェブサイトでは



創世記 2:7 について

▶新共同訳

主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

→生きる者⇒NKJV：生きる魂：ネフェシュ Nephesh（魂）・ハイヤー（ヘブライ語）

▶口語訳

主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

▶文語訳聖書

エホバ神（かみ）土の塵（ちり）を以つて人を造つくり生氣（いのちのいき）を其の鼻に嘘入（ふきいれ）たまへり人即（すなは）ち生靈（いけるもの）となりぬ。

▶新改訳

神である主は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。

▶NKJV (New King James Version)

And the Lord God formed man of the dust of the ground, and breathed into his nostrils the breath of life; and man became a living being.

生きる者

▶NIV (New International Version)

Then the Lord God formed a man from the dust of the ground and breathed into his nostrils the breath of life, and the man became a living being.

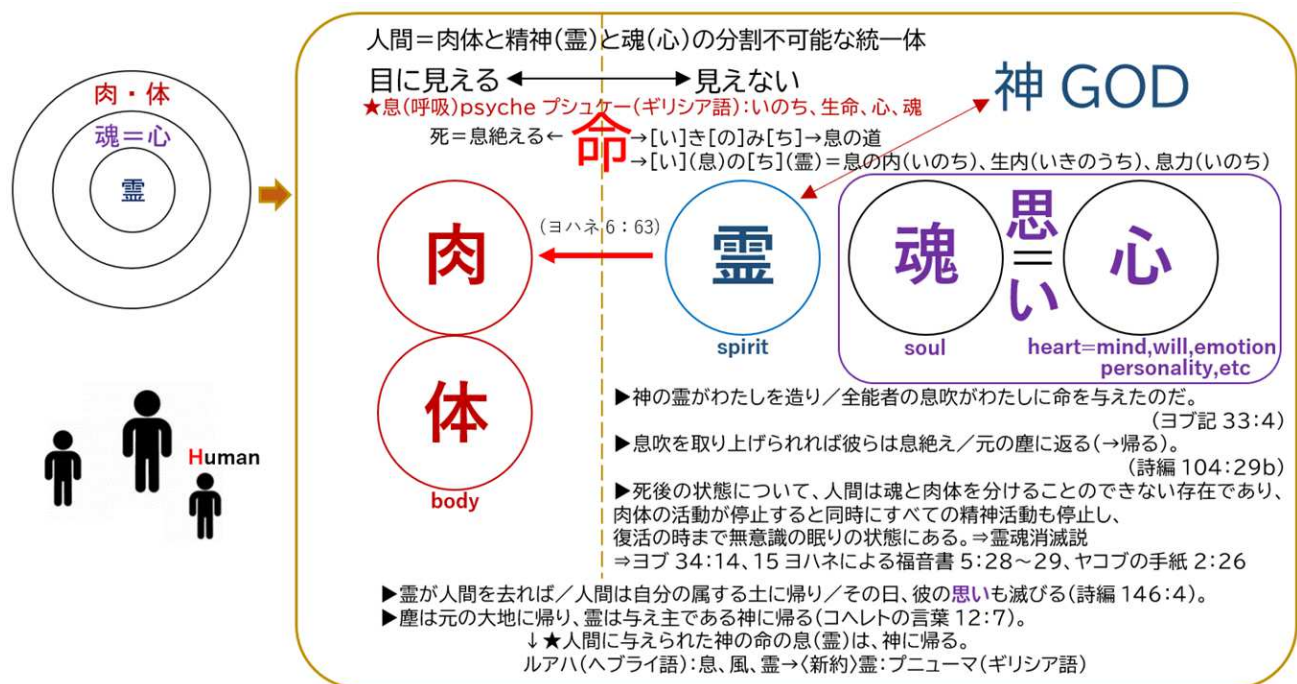
▶KJV (King James Version)

And the LORD God formed man of the dust of the ground, and breathed into his nostrils the breath of life; and man became a living soul.

生きる魂 →魂（ネフェシュ）⇒プシュケー＝命、息

→「魂」が、肉体を離れて存在することができる意識のある存在であるとする主張（靈魂不滅）は、聖書の教えからみても、誤りであることが分かります。

→死ぬと、人間に与えられた命の息は、神に帰る（コヘレトの言葉 12：7）。



【参考】 霊的

① ヒトの内面を指す。→人間は霊的存在である。

→人はパンだけで生きる（→息[生命活動の根幹]をする→【いき】をす【る】→生きる）ものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる（マタイによる福音書 4：4→申命記 8：3）。

② 聖霊の働きを指す。→霊的賜物：聖霊がくださる賜物＝御霊（みたま）の賜物

【参考】 条件付き靈魂不滅

キリスト者(イエス・キリストの贖いによって救われた者)の死→一時の眠りにつく→再臨時に、名前が呼ばれ、復活→永遠の命

キリスト者以外^の死→魂は地獄→千年期後、宇宙（地獄）から完全消滅

→詩編 146：4

霊が人間を去れば／人間は自分の属する土に帰り／その日、彼の思いも滅びる。

→マタイによる福音書 10：28

体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。

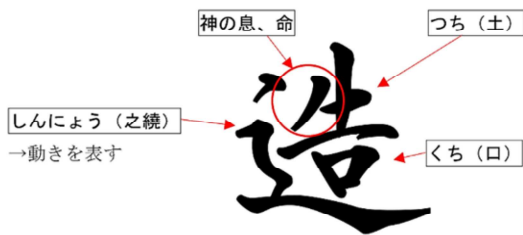
【参考】 肉(体)、霊、魂、心 等

タイトル(書名)	章:節 聖句 【検索対象総数：10 / 聖句等の総数 33250 】	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 民数記	27:16 「主よ、すべての肉なるものに霊を与えられる神よ、どうかこの共同体を指揮する人を任命し、	
K エゼキエル書	11:19 わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける。わたしは彼らの肉から石の心を除き、肉の心を与える。	
K エゼキエル書	36:26 わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。	
S ヨハネによる福音書	6:63 命を与えるのは“霊”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。	
S コリント信徒への手紙 I	15:46 最初に霊の体があったわけではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです。	
S ガラテヤの信徒への手紙	5:17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。	
S エフェソの信徒への手紙	4:4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。	
S テサロニケの信徒への手紙 I	5:23 どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。 (聖書協会共同訳) また、あなたがたの霊と心と体 (spirit, soul and body) とを完全に守り、 私たちの主イエス・キリストが来られるとき、非の打ちどころのない者としてくださいますように。	
S ヤコブの手紙	2:26 魂のない肉体が死んだものであるように、行いを伴わない信仰は死んだものです。	
S ペトロの手紙 I	3:18 キリストも、罪のためにただ一度苦しみました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。	

【参考】塵

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 10 / 聖句等の総数 33250 (塵)12個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: 塵]
K 創世記	2:7 主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。	
K 創世記	3:19 お前は顔に汗を流してパンを得る／土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。』	
K ヨブ記	7:21 なぜ、わたしの罪を赦さず／悪を取り除いてくださらないのですか。今や、わたしは横たわって塵に返る。あなたが探し求めても／わたしはもういないでしょう。	
K ヨブ記	10:9 心に留めてください／土くれとしてわたしを造り／塵に戻されるのだということ。	
K ヨブ記	34:15 生きとし生けるものは直ちに息絶え／人間も塵に返るだろう。	
K 詩編	90:3 あなたは人を塵に返し／「人の子よ、帰れ」と仰せになります。	
K 詩編	104:29 御顔を隠されれば彼らは恐れ／息吹を取り上げられれば彼らは息絶え／元の塵に返る。	
K コレハトの言葉	3:20 すべてはひとつのところにいく。すべては塵から成った。すべては塵に返る。	
K コレハトの言葉	12:7 塵は元の大地に帰り、霊は与え主である神に帰る。	
K ダニエル書	12:2 多くの者が地の塵の中の眠りから目覚める。ある者は永遠の生命に入り／ある者は永久に続く恥と憎悪の的となる。	

【参考】造



精神

精神は、知性的存在者の認識能力、意志能力、判断能力の総称である（＝心、意識、気力、理念、理性、悟性、知性など）。

一般には、魂は感情、知覚、受動性にかかわる能力とされるのに対して、精神は能動的で知知的な働きとされる。（ウィキペディア）

タイトル(書名)	章:節 聖句 【検索対象総数：8 / 聖句等の総数 33250 (精神)8個】 ※新共同訳聖書では、「精神」は8回登場します。ところが・・・。	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：精神]
K 申命記	28:28 主はまた、あなたを打って、気を狂わせ、盲目にし、精神を錯乱させられる。 The Lord will afflict you with madness, blindness and confusion of mind .	★ mind ①知力、知性、思考力、頭脳 ②心、精神、③ものの考え方、気質 ④意見、意向、本心、願望、好み ⑤注意、関心、⑥知的な人、⑦記憶、回想、 ⑧正気、平静、理性
K 箴言	個人的には「魂」より「動機」「目的」の方が適訳と思う← 精神→魂(聖書協会共同訳) 16:2 人間の道は自分の目に清く見えるが、主はその精神を調べられる。 All a person's ways seem pure to them, but motives are weighed by the Lord.	★ motive ①動機、目的、意志、意欲
S マタイによる福音書	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 22:37 イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind .	
S マルコによる福音書	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 12:30 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind and with all your strength.	
S ルカによる福音書	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 10:27 彼は答えた。『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。』 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your strength and with all your mind .	★ soul ①魂、靈魂、霊、②精神、③熱情、生氣、氣迫、④本質的部分、生命、信条 等
S テモテへの手紙 I	6:5 絶え間ない言い争いが生じるのです。これらは、精神が腐り、真理に背を向け、信心を利得の道と考える者の間で起こるものです。 and constant friction between people of corrupt mind , who have been robbed of the truth and who think that godliness is a means to financial gain.	精神→知性(聖書協会共同訳)
S テモテへの手紙 II	3:8 ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、彼らも真理に逆らっています。彼らは精神の腐った人間で、信仰の失格者です。 Just as Jannes and Jambres opposed Moses, so also these teachers oppose the truth. They are men of depraved minds , who, as far as the faith is concerned, are rejected.	精神→知性(聖書協会共同訳)
S ヘブライ人への手紙	4:12 というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。 For the word of God is alive and active. Sharper than any double-edged sword, it penetrates even to dividing soul and spirit , joints and marrow; it judges the thoughts and attitudes of the heart.	精神→魂(聖書協会共同訳)

⑧「聖書協会共同訳」では、「新共同訳」で誤訳(?)と思われた箇所が訂正されている(英文聖句は NEW INTERNATIONAL VERSION を用いています)。

▶精神 (広辞苑)

- ① (物質・肉体に対して) 心。意識。たましい。
- ② 知性的・理性的な、能動的・目的意識的な心の働き。根気。気力。→「向学の精神」
- ③ 物事の根本的な意義。理念。→「建学の精神」
- ④ 個人を超えた集団的な一般的傾向。時代精神・民族精神など。
- ⑤ 多くの観念論的形而上学では、世界の根本原理とされているもの。例えば、ヘーゲルの絶対精神の類。

▶精神 (明鏡国語辞典)

- ① 思考や感情の働きをつかさどる心。→「健全なる精神」
- ② 物事を成し遂げようとする気力。→「不撓不屈の精神」
- ③ 物事を支える根本となるもの。理念。→「民主主義の精神」

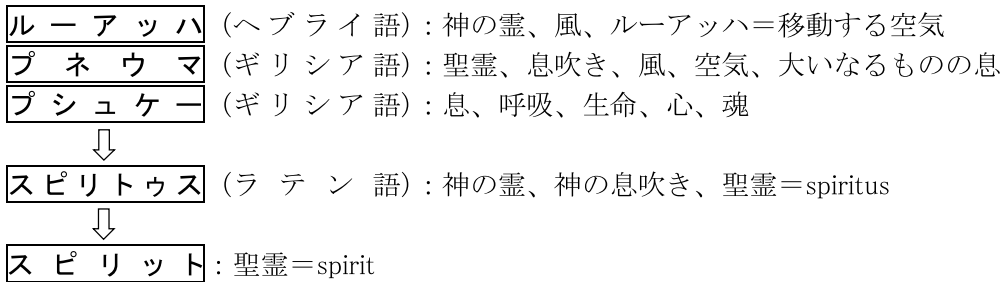
▶精神 (ブリタニカ国際大百科事典)

非物質的現象またはその基本とされる実体をさす概念。
その直接的認識は不可能なので精密な概念規定はなく、各思潮、各学派などで異なる。
原語は風、息吹きを意味し、人間に宿るきわめて軽妙なものと考えられ、生命の原理とされる。ここから神、天使なども精神とされ、特に神から離反する肉に対し神に従う霊と同義に用いられた。
一般には思考全般をさし、対象に対する主体が精神とされ、また物質、生み出されたものとしての自然、本能としての肉などに対立する知性をさし、転じては学説や制度などの中核的理念をも意味する。

▶精神 (新漢語林)

- ① ところ。たましい。⇔肉体。② 気力。元気。③ 生氣のあふれていること。生氣・光彩があつて美しいこと。④ 意義、理念。

命 life、息 breath、風 wind、霊 spirit



①創世記 2 : 7

主なる神は、土 (アダマ) の塵で人 (アダム) を形づくり、その鼻に**命の息**を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

②ヨブ記 7 : 7a

忘れないでください/わたしの**命**は**風**にすぎないことを。

③ヨブ記 33 : 4

神の**霊**がわたしを造り/全能者の**息**吹がわたしに**命**を与えたのだ。

④ヨハネによる福音書 3 : 8

風は思いのままに吹く。あなたはそ (→風) の音 (=霊の声) を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない**霊**から生まれた者も皆そのとおりである。

⑤ヨハネによる福音書 6 : 63

命を与えるのは“**霊**”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は**霊**であり、**命**である。

⑥ローマの信徒への手紙 8 : 2

キリスト・イエスによって**命**をもたらす**霊**の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。

⑦ローマの信徒への手紙 8 : 6

肉の思いは死であり、**霊**の思いは**命**と平和であります。

⑧ローマの信徒への手紙 8 : 10

キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、“**霊**”は義によって**命**となっています。

⑨コリントの信徒への手紙一 15 : 44

つまり、自然の**命**の体が蒔かれて、**霊**の体が復活するのです。自然の**命**の体があるのですから、**霊**の体もあるわけです。

⑩コリントの信徒への手紙一 15 : 46

最初に**霊**の体があったわけではありません。自然の**命**の体があり、次いで**霊**の体があるのです。

⑪ガラテヤの信徒への手紙 6 : 8

自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、**霊**に蒔く者は、**霊**から永遠の**命**を刈り取ります。

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
	タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 10 / 聖句等の総数 33250]
K	民数記	27:16 「主よ、すべての肉なるものに霊を与えられる神よ、どうかこの共同体を指揮する人を任命し、
K	エゼキエル書	11:19 わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける。わたしは彼らの肉から石の心を除き、肉の心を与える。
K	エゼキエル書	36:26 わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。
S	ヨハネによる福音書	6:63 命を与えるのは“霊”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。
S	コリント信徒への手紙 I	15:46 最初に霊の体があったのではありません。自然の命の体があり、次いで霊の体があるのです。
S	ガラテヤの信徒への手紙	5:17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。
S	エフェソの信徒への手紙	4:4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。
S	テサロニケの信徒への手紙 I	5:23 どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。
S	ヤコブの手紙	2:26 魂のない肉体が死んだものであるように、行いを伴わない信仰は死んだものです。
S	ペトロの手紙 I	3:18 キリストも、罪のためにただ一度苦しみました。正しい方が、正しくない者たちのために苦しまれたのです。あなたがたを神のもとへ導くためです。キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)</p> 章:節 聖句 [検索対象総数: 10 / 聖句等の総数 33250]
K 創世記	6:3 主は言われた。「わたしの霊は人の中に永久にとどまるべきではない。人は肉にすぎないのだから。」こうして、人の一生は百二十年となった。
K ヨブ記	12:10 すべての命あるものは、肉なる人の霊も／御手の内にあることを。
K ヨブ記	33:4 神の霊がわたしを造り／全能者の息吹がわたしに命を与えたのだ。
K 詩編	104:29 御顔を隠されれば彼らは恐れ／息吹を取り上げられれば彼らは息絶え／元の塵に戻る。
K 詩編	146:4 霊が人間を去れば／人間は自分の属する土に帰り／その日、彼の思いも滅びる。
K コレヘトの言葉	12:7 塵は元の大地に帰り、霊は与え主である神に帰る。
K エゼキエル書	37:6 わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。」
S ヨハネによる福音書	6:63 命を与えるのは“霊”である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。
S ローマの信徒への手紙	8:13 肉に従って生きるなら、あなたがたは死にます。しかし、霊によって体の仕業を絶つならば、あなたがたは生きています。
S ヤコブの手紙	2:26 魂のない肉体が死んだものであるように、行いを伴わない信仰は死んだものです。